

第43回県本部総会

亀井
洋示



これが
日米同盟



No. 601 附録

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫
〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
領価 50円

兵庫版 No.486

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
兵庫県本部

〒650-0022 神戸市
中央区元町通6丁目6-12
山本ビル 国民救援会内
TEL(078)351-0677
FAX(078)371-7376

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

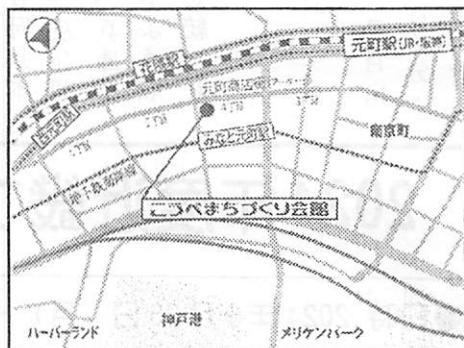
第43回 県本部総会

● 2024年7月28日 (日)

午後1時30分～4時

●神戸まちづくり会館

2階ホール



神戸市中央区元町通4丁目2-14

※総会は、支部選出の代議員・評議員によって構成されます。

参加ご希望の方は、支部役員会を通じてご連絡ください。

支部のない地域からのご参加は、県本部までご連絡ください。

県本部第42期**第10回幹事会報告****【会員拡大】**

あらためて来年の国
会に提出する請願署名
を取組むことを確認し
ました。

第10回幹事会は6月15日開催されました。会議では映画「伊藤千代子」の連続上映会成功とともに、全国大会・県本部総会成功に向けて、会員拡大の飛躍をめざそうと意思統一しました。

【署名運動】

5月の拡大は、中央、
明石、西播の3支部で5
人と、県外、垂水区、西
区で3人、合わせて8人の
入会で2人の純増となり、5月末現勢は11人
が参加しました。

映画「わが青春つきると
もー伊藤千代子の生涯」は6
月16日から30日の間に10会場
で行われました。各会場では、受付や映写などのスタッフが奮闘しました。開会にあたっては、映画の紹介とともに、国賠同盟の運動への入会の訴えが行われました。今回の上映会には、のべ477人が参加しました。

【その他】

● 第11回幹事会は7月14日(日)午後1時30分・

救援会事務所で開催。

**第43回県本部総会（7月28日）を、
会員拡大の飛躍で成功させよう**

96人です。幹事会では6月の活動で最高時現勢1203人を突破しようと話し合われました。※（6月の拡大は入会が10人となり、最高時現勢を回復しました。入会者の内7人が映画を鑑賞したことが入会のキッカケでした。

【第3次上映運動】**【近畿ブロック交流会】**

9月23～24日に神戸しあわせの村で開催される「近畿ブロック交流会」の実施要綱案が提起され、その内容で近畿の各府県本部に提案すること、及び開催地県本部として、兵庫から多数が参加するよう取り組むことを意思統一しました。

【県本部第43回定期総会】

幹事会では、定期総会代

議員定数を県本部役員と各支部からの代議員48名

とすること、議事次第、総会議案などが提案され、確



◆記念講演
石川康宏
神戸女学院大
名誉教授

2024年度近畿ブロック交流会

- 日時 2024年9月23日(月)～9月24日(火)
- 会場 神戸しあわせの村

9月23日(月)

13:00 開会・記念講演

15:00ブロック会議 18:30 懇親会

9月24日(火) 9:00分散会 12:00閉会

参加費

■宿泊、懇親会、朝食…1人 12000円

■会議、講演のみ…1人 1000円

■日帰りで懇親会参加…1人 4000円

治安維持法公布から来年で100年

治安維持法公布同盟中央本部

第41回全国大会

治安維持法犠牲者国家賠償要

求同盟中央本部の第41回全国大
会が6月19・20日と東京文京区
の「平和と労働会館」で開催さ

れました。

治安維持法が公布されて、來
年で100年を迎えます。今大
会の運動方針では、「再び戦争
と暗黒政治を許さない」という
スローガンを掲げて運動してき
た成果を確信に、一步を踏み出
そうと呼びかけました。

全国から代議員・評議員12
3人が参加しました。兵庫県か
らは高山立副会長、辻修副会
長、田中隆夫幹事、川村勝幹事、
勝部志郎事務局長の5名が参加
しました。

討論は

44人が發
言しまし
ます。

開会あいさつした吉田万三会
長は、「裏金問題」で岸田文雄政
権の支持率が低迷する中でも、
大軍拡は「着々と進行してい
る」と述べ、岸田政権が武器輸
出を解禁したり「経済秘密保護
法」で国民監視を拡大したりし



てあるなどと指摘。「大きな時
代の節目にさしかかった時期に
開かれる大会だ」と強調しまし
た。

「活動方針と運動方針」は、
「戦争と弾圧はスクラムを組ん
でやつてくる」と述べていま
す。国賠同盟の第一の課題に

「何としても戦争を起させな
い」ことを挙げています。今大
会の任務に大軍拡を推進する
「岸田自公政権の暴走を食い止
め」、「解散・総選挙に追い込む」
としています。また、市民と立
憲野党の共闘で、同政権を終わ
らせる「闘いを推進する」とし
て い ま

吉田万三会長をはじめ三役12
名、常任理事47名、理事64名が
選出されました。新事務局長に
永島民男氏が選出されました。
兵庫県からは常任理事に勝部事
務局長、理事に築谷会長、辻副
会長、高山副会長が選出されま
した。

事跡顕彰活動、八鹿高校事件
年問題について発言しました。
特別決議「岸田自公政権の『戦
争する国づくり』に反対し、市
民と立憲野党の共闘による政権
樹立をめざす」、運動方針、財政
報告などが提案とおり採択され
ました。



映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」第3次上映会は、6月16日~30日に県下10会場で19回上映し477人が鑑賞。この3年間で県下15地域28会場でのべ2922人の参加となりました。第3次上映会ではブルーレイ画質で鑑賞できるよう機材を揃えました。一部、不慣れでの不手際をお詫びします。感想の一部を紹介します。



この3年間で、
県下15地域、28会場で51回上映

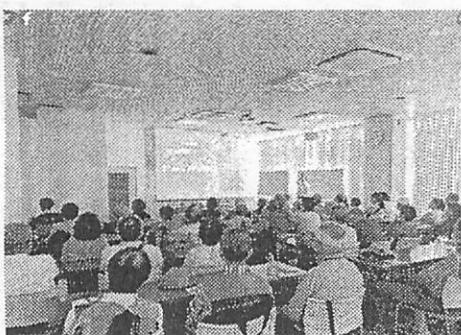
映画「わが青春つきるとも」

参加者は2922人

感動・決意あらた

2022年~24年各地の上映会 参加状況

地域	会場	上映回数	参加者
東灘区	3会場	5回	258人
灘区	1会場	3回	16人
中央区	2会場	4回	202人
兵庫区	2会場	4回	127人
長田区	1会場	2回	469人
尼崎市	2会場	4回	455人
西宮市	1会場	2回	70人
芦屋市	1会場	3回	110人
伊丹市	1会場	2回	176人
明石市	2会場	4回	209人
加古川市	1会場	2回	58人
西播	1会場	2回	108人
但馬	6会場	6回	166人
丹波	2会場	4回	344人
淡路	2会場	4回	154人
合計	28会場	51回	2,922人



▽神戸市・男性58歳
大変良かつたです。権力に抗い信念を貫き通した伊藤千代子の生涯に感動しました。

▽西宮市・89歳
この苦しみがまたまた形を変えて復活している。だからこの映画は若い人々、

地域でとりくんだ方からの感想です

とりくんで

戦前を知らない人々の多く観てもらいたい作品。まだ、世の中は変わっていないことを知つてもらうため、もつと大勢の人々に見せたい。涙が出た。

▽男性の感想が多かった。女性に映画鑑賞を勧めても見るのが辛い、一回見たから等返事が多かつた。

▽立党の精神が刻まれ、マ

倒すために伊藤千代子さんの魂を引き継いでいかなければならぬないと、強く感じました。

▽西宮市・89歳
千代子さんの不屈の精神、不屈のたたかいを決して無駄にしてはならない。戦争のない平和を守らなければならぬ。すばらしい映画だった。

▽尼崎市・75歳
隠す、抑える、管理する、

▽立党の精神が刻まれ、マ

千代子さんの不屈の精神、不屈のたたかいを決して無駄にしてはならない。戦争のない平和を守らなければならぬ。すばらしい映画だった。

▽尼崎市・75歳
隠す、抑える、管理する、全て民衆が立ち上がるこ

▽立党の精神が刻まれ、マ

ルクスの話題に気づき、あらすじだけでない言葉に改めて強い感動がありました。上映会やって良かった。

て思いました。

権力犯罪

1974年
11月22日

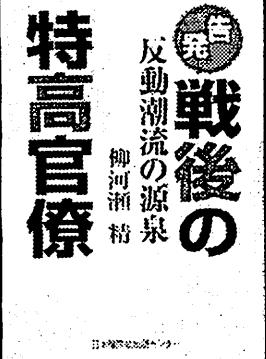
八鹿高校事件

連載④
田中隆夫

3、柳河瀬精著『告発・戦後の反動潮流の源泉特高官僚』(2005年刊)から考える(続き)

(2) 「兵庫県は特高ぞろぞろ」(柳河瀬精)

前回、坂井時忠の義理の父・大達茂雄その部下が文部省の中核にすわり、戦後教育の大きな歪みが作り出されを見ました。今回は、柳河瀬さんの本でも特別強調されている「兵庫県は特高ぞろぞろ」の項から見ていきます。



敗戦直後、内務省関係者が公職追放になっていたので、民間の電気工事会社協会は、柳河瀬の本でも特高ぞろぞろの項から見ていきます。

1967年姫路市長となります。

戦前日本労農党から兵庫県議となり、戦中の大政翼賛会推薦の衆院議員となり戦後公職追放されていた阪本勝が1954年選挙で知事に就任。それでもまた、公職追放されていた金井元彦が阪本により副知事になります。八鹿高校事件のときは兵庫県知事退任後の兵庫県選出参院議員でした。

会の会長であった岸田幸雄が1947年選挙で知事に就任。副知事に島根・熊本両県で特高課長を務めた吉川覚を副知事に招へい。このとき大阪府特高課警部を務めた吉田豊信が1960年代まで県各部長級を歴任し、1963年県出納長となり

横浜事件当時警保局検閲課長(のち情報局検閲課長) - 944年7月25日 - 1945年4月21日まで警報局保安課長を歴任。保安課長は、全国の各県特高課長の元締の役割です。

坂井時忠は、金井の下で雑誌検閲課長を務める。横浜事件のスタートは、雑誌

【中央公論】の記事から始まるすべてがでっち上げの事件でした。

八鹿高校事件時、兵庫選出参院議員の金井とその後の県知事であつた坂井の2人の役割は、この横浜事件に重要な役割を果たしたと言えます。

(3) 横浜事件と金井元彦、坂井時忠—「横浜事件」はなかつた!

「横浜事件」という、事件は件ではないんですよ。普通、事件というと犯罪が行われて、犯罪に関わった人の名前などをつけて「〇〇事件」と呼びますが、横浜事件だけは特殊でして、これは、犯罪を検挙すべき警察が起こした「事件」なんです。

Q、発端は「改造」に載った論文と伺っていますが? ふじた その前に、アメリカから帰ってきた川田さん

する謝罪と補償を勝ち取った最初の例となつた横浜事件である。

横浜事件を知るためには、まず「横浜」事件という事件はなかつたことを知つてほしい。父上が横浜事件で検挙された脚本家のふじたあさやさんへのインタビューをお読みください。

金井と坂井で特筆すべきは、長期にわたる市民的運動で治安維持法被害者に対する謝罪と補償を勝ち取つた最初の例となつた横浜事件である。

というご夫妻が、アメリカで共産党に属していたというでっち上げで、まずいきなり捕まりまして、いろいろ調べられて、結局何でもないんですけども、相当な拷問があつた。

それが1942年で、それに始まって1945年にかけての

一連の事件です。事件の数でい
うと、十あまりあるんです。そ
の総体が、全部でつち上げで
あつたということがわかつたと
ころから、「横浜事件」とネーミ
ングされるんです。

Q、共産主義を広めようとしている、という嫌疑が共通なんですか？

ふじた（中略）とにかく治

安維持法違反であることだけは
間違いない。どういう嫌疑か、

本人も家族も会社もわからな
い。中央公論の私の父たちが関
わつたとされるのは、共産党再
建という謀議があつたとされて
いる件です。

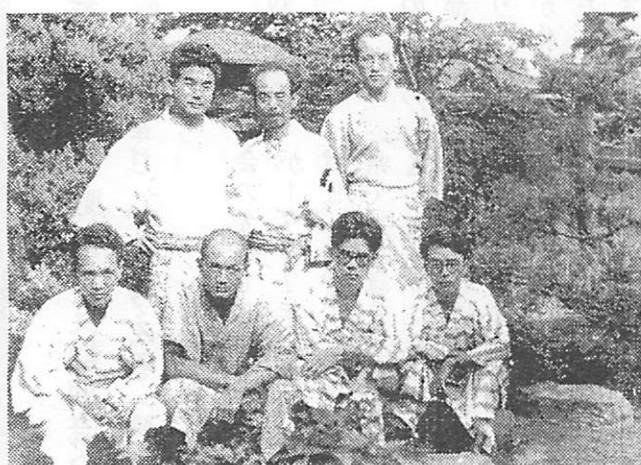
これは細川嘉六さんを囲む編
集者たちの集まりで撮った写真
が一枚、たまたま別件で逮捕し

た人の所から出て来たんですね。その写真にのつていてる奴をとりあえず捕まえろということになつて、これがそうですね（掲載写真）。富山県の泊温泉に集まつてている。

Q、ここに写つてるのは7人ですね？

ふじた まずその7人を捕まえて、その上司、同僚、友人と、最終的に90人までいっちゃんですよ。

細川さんが書いた論文は、検



閲は通るんですけども、発表された途端に「けしからん」と言い出す奴が軍部の側にいました。それで、そのために警察が慌てるわけですね。慌てて、さかのぼつて発禁にしたりなんかする。そういうことでマークされたんですね、細川さんが。で、そういう時に、その細川さんが写つてゐるこの写真が、見つかるわけですよ。（一部略）

そこで、はつきりと「共産党再建のための謀議を泊温泉でやつた」というでつち上げをするわけですね。酒飲みに行つただけの話なんですけれども。それで、今度は、この友達がまた全部捕まるわけですよ。

Q、お父様は、どういう役職だつたんですか？

ふじた 父はその当時は

中央公論社の出版部長だつたんですね。木村さんは出版部員だつたんです。それで彼は細川さん担当だつたんだで、細川さんの論文を運んだりいろいろしていたわ

けですね。そんなこともあって、お世話をなつてているというんで、細川さんに呼ばれた。それが逮捕のきっかけになつたんです。そこからは、横へも縦へも行くわけですよ。上司を捕まえろということになつて、父も捕まりました。「共産党再建の謀議があつた」。そのことは社内でも認識されていたんだろうと、追及されるわけですね。父親は全く知らないということ（中略）親父はちょうどスキーリングに行っていて、スキー場から旅館に帰つて来たら、旅館の玄関に特高が数名隠れていて、スキーケー脱ごうとした途端に飛びかかられて、そのまま連れ去られちゃつたんです。（中略）

Q、その当時、何で捕まつたのかということはわかつていたんですか？

ふじた 全然、わかんない。